

楽しく 無理せず 自分らしく

はらっぱ 第49号

編集・発行

佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)

はらっぱ編集委員会

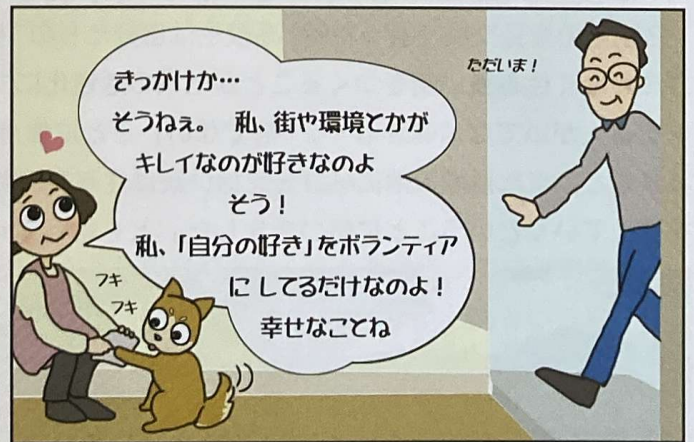
〒285-0013

佐倉市海隣寺町87

佐倉市ボランティアセンター内

TEL 043-484-6198

FAX 043-486-2518



作画・大橋カズミ

詳しくは佐倉市ボランティア連絡協議会ホームページをご覧ください

続けてきて良かった

ゴミのない街に住みたい街のそうじ屋さん

中志津クリーンクラブ

中志津クリーンクラブの活動に高校生が注目！

佐倉市ボランティアセンターから「地域の環境(ゴミ問題)について探究学習のテーマにしている高校生が、中志津クリーンクラブの活動に興味を持っているので話をして欲しい」と連絡がありました。

「高校生が地域のゴミ問題に興味があるなんて珍しいな、現代の若者が考えているのはもっと大きな環境問題？」と半信半疑で高校生3人と会いました。

私たちは28年にわたる活動を、思い出話をするかのように、また時には熱をこめて語りました。

「スタート時は指定袋に入れて出すべき生活ゴミ、たばこの吸い殻、粗大ゴミまで捨てられ、毎回、回収袋が山と積まれていました。でも数年すぎる頃からゴミは減っていき、加えて個人で街の清掃活動をする人を見かけるようになり『ゴミの少ない街になってきたね』と仲間と実感したものです。しかし今もゴミはゼロではなく、これからもゼロにはならないでしょう。だから私たちはこの活動を続けていきます」と話しました。



うなずいていた高校生から「実は、今日は皆さんにポイ捨てをなくすにはどうしたらいいかを教えてもらいゴミ問題の根本的な解決策は何かを知りたかったのですが、皆さんの話を聞いて、この問題の深さがわかったような気がしました」と。こうして1回目の意見交換は終わりました。

高校生の想いは「拾う」から「捨てない」街づくり

2回目の意見交換で会った時、高校生は自分たちの「拾うから捨てない街づくり」という目標を教えてくださいました。ゴミがなく住み良い街をつくるのが地域の活性化につながることに、そしていくらゴミを拾う人がいても、ポイ捨てをする人がいては意味がなく、「捨てない」ことに焦点を当てるべきだという考えからその目標を立てたと話してくれました。また目標の他に「ゴミを拾い続け住み良い街を作ろうとする人たちがいて、その拾い続ける姿が人の意識を変えていくということに気づきました」とも話してくれました。



「今回感じた気持ちを活かして校内の清掃活動に取り組んでみます。そのためには清掃活動がしやすい掃除道具の準備など、掃除の意欲がわくような環境作りが大事だと感じています。そして清掃後の爽快感を生徒みんな味わえたらいいと思います」と。彼らのこれからの意気込みに感動する私たちでした。

そして10月の中志津クリーンクラブの活動を体験したいとの申し出があり、ここ数年、ただ静かにゴミを拾い続けてきた中志津クリーンクラブにとって高校生との出会いは、何か新しいものを感じさせてくれました。



中志津クリーンクラブ 会員14名

発足：1994年1月

活動内容：中志津の道路と公園の清掃

活動日：毎月1回 第3日曜日

活動場所：中志津1～7丁目

4月～10月 午前8時～9時

11月～3月 午前9時～10時

小さな活動

🌱 28年前の私たちの想いは今の高校生と一緒に 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱

今回のことで昔を振り返ってみて驚きました。スタート時は、ボランティア活動が世の中で注目され始めたころだったと記憶します。地域の仲間と何かボランティア活動をしたいねと話し合い「自分たちの住む街を良くしたい、住み良い街にしたい、地域の役に立つ活動はなんだろう」と考えたことを覚えています。なんと、今回の出会った高校生の気持ちとまるで同じだったのです。私たちは道端や公園の清掃をしようと決め、やるからには長く続けたいという思いから活動時間は1時間だけ、活動日の変更はしないなど『シンプルさ』を心がけました。そのかいあつての28年間だったと思います。

記録を見ると始めた頃は勢いがありました。ポスターや立て看板を設置しての「ポイ捨て防止活動」、メンバーが全力で取り組んだ「落ち葉問題解決に向けてのアンケート調査」など懐かしいです。現在こうした取り組みの結果、ゴミの量は高齢化した私たちの体力に見合う少なさになっています。

28年前の様子



白い袋とピンクの袋に分けてゴミをまとめています

現在の様子



ゴミは少なくなりましたが、自転車が捨てられていました



これからも中志津クリーンクラブの活動は続きます。小さな活動が街をきれいにするにつながり、また活動を通して多くの人々との出会いがあることを思うと、やめられません。余談ですが高校生に注目されたことでメンバーに明るさが増したようです。

最後に、高校生の前向きな姿勢に明るい未来を感じました。若い彼らとは住む地域は違いますが、これをきっかけにそれぞれの地域での清掃活動はもちろんのこと、様々な分野で活躍してもらいたいです。そしてボランティア活動がもつたくさんの魅力を味わってもらえたら嬉しいです。

🌱 高校生からの感想 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱 🌱

私たちの通う高校には探究活動という自らテーマを決めて研究をする授業があり、私たちは地域のゴミ問題をテーマにしています。意見交換では、「清掃活動を通して、ポイ捨てをする人たちの心を変えられる」というお話が特に印象的で、自分の行動が誰かに良い影響を与えるという考えが素敵だなと感じました。実際に清掃活動に参加させていただいた際には、思ったよりも街にゴミが落ちておらず、皆さんの長年の活動が地域の美化に大きく貢献していることを実感しました。ボランティアの方々には、ゴミ問題のことはもちろん、生きていく中で大切な考え方も教えていただいたように思います。本当にありがとうございました。



ボランティア活動を続けるためのヒント

- ①活動日時を固定して時間延長はしない ②シンプルな活動 ③支えあう仲間がいる

ボランティア連絡協議会 令和4年度活動報告

◎ 埼玉県春日部市ボランティア活動推進連絡会とのリモート交流会 6月24日 (金)

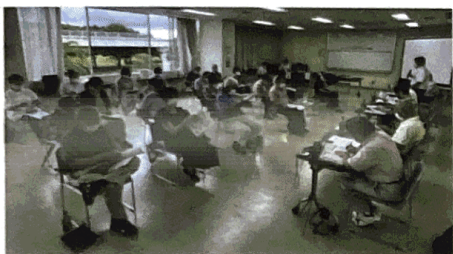
会の運営についてお互いに発表し合い、ボランティアの高齢化や、継続していく難しさなど意見交換をしました。他市V連との初めてのリモート交流会でしたが、遠距離でも画面を通して手軽に交流ができることを実感しました。また、会を運営するうえでの課題など共感することができました。



◎ 研修会 志津コミュニティセンター7月13日 (水)

テーマ：「with コロナのボランティア活動」

参加者38名



リレートークでは、「with コロナの視点で工夫をして活動ができた」「IT ツールを使って会員同士の情報交換をした」「日頃できなかったメンテナンスができた」「ボランティアに関わってきた施設に入所している方々を日々思いやっている」などのお話を聞きました。

また、コーディネーターの松山先生からは、ボランティア活動の意義や役割を見据え「今できることは何か」を考え、ボランティアセンターなどまわりの機関を活用し、情報収集や情報交換をすることが重要。専門性などの学びの場も必要。そして何より「まずは、できることをやっていきましょう！」とエールをいただきました。

研修内容	
…コロナ禍でのボランティア活動の現状…	
佐倉市ボランティアセンター長 高橋将紀	
…リレートーク発表者…	
☆サロン活動	
内郷地区社協	浅野訓子
ボランティア桜	杉本奎子
☆演奏活動	
和楽奏衆 鼓珀	野川真一
☆個人ボランティアの活動	
…コーディネーター…	川島幸一
順天堂大学先任准教授	松山 毅
	(敬称略)

◎ 運営委員会 志津コミュニティセンター12月4日 (日)



令和4年度活動報告(4月~11月)を行った後、各団体・個人の活動の現状やコロナ禍で新たに興味を持った事などをグループに分かれて話しました。

施設関係のボランティアは苦戦しているようですが、全体として少しずつ工夫して動き始めた印象を持ちました。「対面での定例会ができた」「30周年の式典をした」「3年ぶりに福祉まつりを開催」など

嬉しい声です。コロナ禍で「技術が衰えてしまったのではないかなど心配事もありましたが、7月の研修会で学んだ「ニーズを知ること」「情報を得ること」で、個々にも活動の場が広がったようです。

◎ ボランティアのつどい 2023年2月11日 (土・祝日)

講演会 「豪雨!地震!その時、あなたはどう動く?」

講師：防災官 荒井博友氏 (危機管理課)

場所：志津コミュニティセンター

いつ起きてもおかしくない災害
ボランティア経験のあるあなたは
その時何をしますか?

地域に戻った時

私たちにできることを一緒に考えませんか?



◎ V連リモート交流会

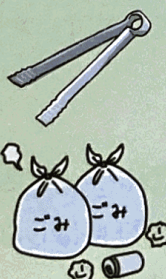
8回開催(6月~12月の期間)、のべ48人の方が参加してくださいました。Zoomに慣れる事を目標に、操作方法を体験。また、自宅に居ながらコミュニケーションを
楽しむことができました。



編集後記

この取材を通して、ゴミ袋を持ち、ゴミを拾っている姿を色々なところで見かけました。「ゴミ拾いは身近なボランティアである」とあらためて気づかされました。

いつも街をきれいにしてくださっている「みなさまに感謝！」



募集!

パソコン操作が好きな方、広報や企画に興味のある方、私たちと一緒に活動しませんか?

<連絡先>

佐倉市ボランティアセンター内
Tel.043-4846198

<http://www.sakuravren.com>